

## ■ 人材育成の促進

グローバルで当社グループの総合力を高めるため、人材育成と従業員一人ひとりが能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進しています。

### グローバル経営幹部候補の育成

将来の経営を担える人材の計画的な育成のため、経営レベルでのモノの見方・考え方を習得し、視野の拡大・判断力向上を目指すなど、より高い職責を担える素養を磨くためのプログラムを導入しています。海外においても、課題設定型問題解決の認定制度を導入するなど、グローバルで幹部候補の育成に取り組んでいます。

### グローバルで活躍できる人材

普遍的に求められる人材			経営環境により求められる人材			
伝承できる	グローバルで技術・技能	国内外問わず活躍できる	高い技術を持ったプロフェッショナル	イノベーションを起こせる	高付加価値を生み出せる	モノづくり革新ができる
業務に必要な基礎能力						
1 問題解決力		2 チームで働く力		3 基本技能		
TG Spirit (豊田合成グループの仕事に対する共通の価値観)						

### 「ビジョン構築力」向上のための取り組み

組織マネジメントに重要な「ビジョン」を描く力の向上のため、部・室長を対象にした組織のビジョンを明確に示す「マネジメント宣言活動」をはじめ、新任幹部職には、未来のあるべき姿からバックキャストで考える、問題解決の上位思考である「ビジョン構築型問題解決研修」を導入し、ビジョンの重要性や描き方を学び、マネジメントに活かす取り組みを行っています。



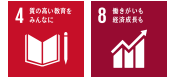
グローバルでの幹部人材育成の研修風景

### 若手育成「3年独り立ち」プログラム

若手の早期育成を図り、3年間で独り立ちをするための制度「若手OJT制度」を導入しています。自分の仕事をPDCAサイクルに沿った仕事を推進するために、職場でのOJTと研

修の両輪を回し、若手の早期育成を図ります。また、入社4年目・6年目の節目にもヒアリングを行い、若手の状況把握と問題の早期発見・対策にも取り組んでいます。

年次	入社1年目	入社2年目	入社3年目
項目			
OJT <職場>	配属	PDCAに基づく、仕事の指導	
OFF-JT <研修>	新入社員研修 ビジネスマナー PDCA、他  工場実習 モノづくり理解	問題解決基礎研修  報連相研修 (コミュニケーション)  若手ヒアリング(2年目)	問題解決実践研修
	専門教育 技術者教育 生技教育		

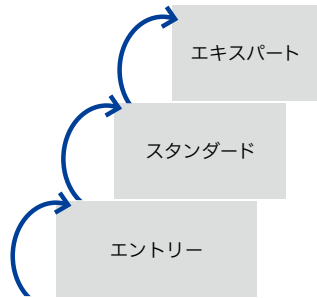


## DX 推進を担う「デジタル人材」の育成

ビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、生産工程や製品の刷新、またビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、

企業文化・風土を変革し、競争優位性を勝ち取るため、DX を推進していきます。このDX 推進を図る人材の育成が急務であり、新たな教育を整備し、育成を図っていきます。

### DX 人材のレベル



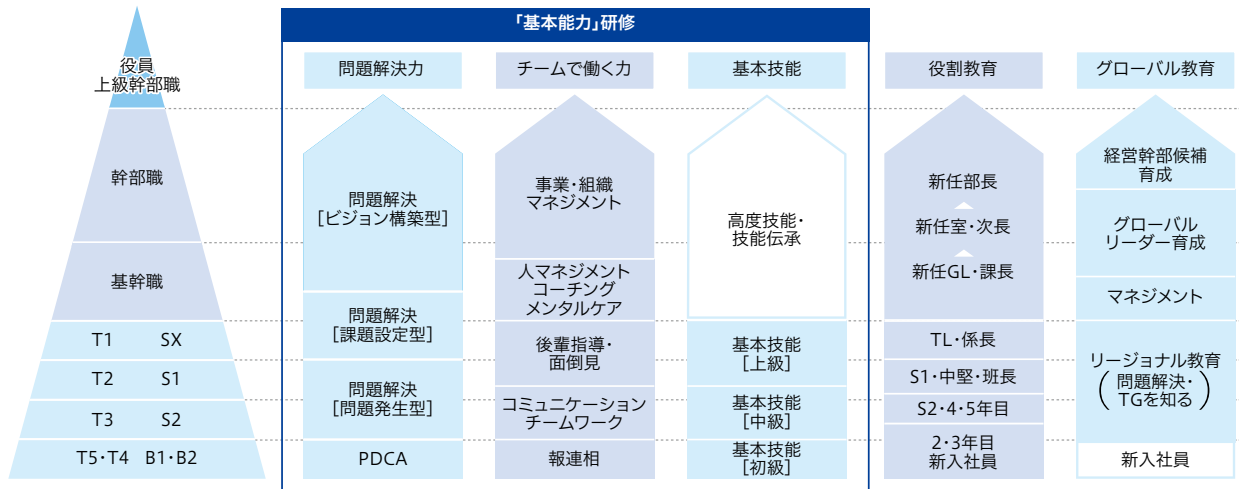
必要なDX人材		2025年に に向けた育成計画
①データサイエンティスト(DS)	大量のデータから必要な情報を抽出、分析し、製品開発へのフィードバックや品質不良の改善を行うことができる人材	86名
②デジタルアーキテクト(DA)	最新のデジタル技術(AI、クラウド等)に精通し、その実装ができる人材	59名
③プログラムオーナー(PO)	デジタル技術を活用した新製品やサービスの企画・開発テーマの推進ができる人材	125名
	まったく新しい発想で、新規ビジネス・サービスの創出ができる人材 デジタルを前提とした業務のあるべき姿を描き、業務の変革推進ができる人材	

## 教育プログラムを充実し、人材育成を活性化

当社で働く上で必要なスキル・能力の向上のために、仕事の基本である「問題解決」、コミュニケーションを柱とした「チームで働く力」、そして強い現場力のための「基本技能」の3つの柱で、教育内容を充実し、人材育成を促進しています。

海外を含めた全グローバルの従業員に向けての人材育成プログラムまで幅広く手掛けています。また、環境変化に合わせ、「オンライン研修」や「eラーニング」の導入も実施しています。

### 階層別教育体系



## 製造現場の技能を高める「専門技能伝承道場」「保全技能伝承道場」「金型技能伝承道場」

生産現場のモノづくり力を高めるには、技能員一人ひとりの技能向上は欠かせません。そのため「技能重視の風土の醸成」を基本方針とし、様々な施策に着手しました。

管理監督者の育成として、管理監督業務だけではなく、専門技能の力を身に付けるため、各製造領域に「専門技能伝承道場」を立ち上げ、実習を行っています。また保全員育成においても、ロボット化、IT化に対応できるよう、電気系の研修を立ち上げ、「保全技能伝承道場」で実習を行っています。

また、金型保全技能の向上のため、「金型技能伝承道場」では、国内外の金型保全員、および関係会社にも参加して

もらい、技能を競う「金型技能競技会」を開催するなど、TGグループとしての人材育成を行っています。また2017年から、「技能五輪」への挑戦をはじめ、2019年には抜き型で敢闘賞を受賞。2020年からプラスチック金型に職種が変更になり、本来業務に関連する高度な技能と知識を習得することで、将来、生産現場で活躍できる若手の人材育成にも取り組んでいます。

